

自社の強みを活かした 新事業創出支援

【背景】



図1 整備した各種測定機器

株式会社野上技研では、自社で整備した各種測定機器（図1）を活用した新規事業の検討を、数年前から進めてきました。

その検討過程において、「測定の基礎」や「試験業界の動向」に関する知識・技術の必要性が明確となり、当所へ相談が寄せられました。

これを受け、当所では令和5年度からオーダーメイド支援事業で、測定技術者の育成と事業化に向けたビジネス支援を行いました。

【支援内容】



支援に当たっては、まず目指す事業モデルなどについてヒアリングを行ったうえで課題を抽出し、当センターがこれまで各種委員会（JIS委員会、学会等）への参画により得られた知見や、職員が保有する測定技術を活用し、下記に示すような人材育成および事業展開に関する助言を行いました。

- ① 座学用資料および実技研修用試料を作成し、測定原理の基礎から実務に直結する測定ノウハウまでを体系的に整理した研修を実施しました。（図2）
- ② 正確な専門用語の理解を目的とした解説に加え、JIS規格に基づく報告書作成手法について研修を行いました。また、ヒアリングシートの作成を支援し、測定作業におけるリスク低減を図りました。
- ③ 試験サービスを提供する機関について整理し、各試験場の特徴や業界内での位置づけを解説しました。あわせて、ISOにおける試験所認定規格の概要説明や、主要試験機の業界勢力図や、欧米市場における装置メーカーの動向について情報提供を行いました。

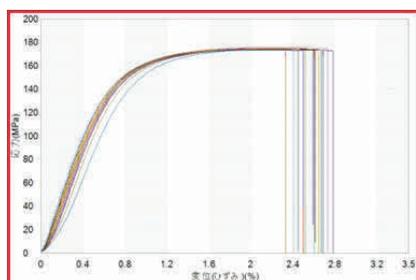


図2 研修で習得した引張試験と測定データの例

【成果】

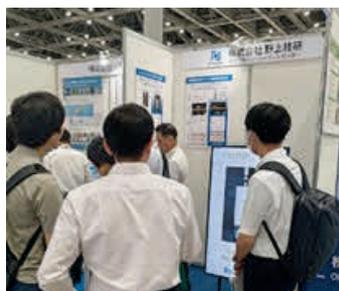


図3 展示会の様子

同社では支援の結果を受け、自社の強みである打抜加工技術を活用した新事業「高品質なサンプル製作を基盤とした測定支援サービス」を立ち上げました。

さらに、新事業の内容を「第18回総合試験機展」へ出展し、プレ事業化を開始しました。（図3）展示会では大きな反響があり、ブースに来場した約25%の企業から具体的な加工依頼や相談が入り、現在は、その内容を精査しながら、事業の可能性を検証しています。

担当

繊維高分子研究所
高分子材料グループ
イノベーション戦略部
研究推進グループ

早乙女 秀丸、岩澤 健太、磯山 亮

TEL:0296-33-4154

行武 栄太郎